

事業の背景・目的

令和4年度は北潟湖自然再生事業実施計画に掲げる短期目標の3年目であり、最終年である。計画に掲げた5つの事業の各目標を達成するため各種自然再生事業を実施していく。

また、これまでの調査研究により、流域からの農業排水の流入が湖の水質を悪化させている原因の一つであることが分かったので、湖への濁水流入防止を図るべく、地域農業の実情等を把握する勉強会などを実施し、地域としての自然再生活動に繋げていく。

事業の内容

事業① 水質改善・調査事業

- ・水門の制御による水質変動の調査
- ・湖内及び流域の濁水調査
- ・研究者の調査結果と利害関係者の意見や地域の実情を把握し、対策方法を検討

事業④ 赤尾湿地保全・活用事業

- ・希少種保全のための草刈
- ・周辺小学校児童に対し、自然観察会及び出前授業を実施

事業② 希少種保全・再生事業

- ・鳥類の標識調査、センサーカメラ調査を実施
- ・ビオトープの管理
- ・ウシガエル成体と幼生、アメリカザリガニを駆除

事業⑤ エコ・グリーンツアー検討事業

- ・エコツーリズムの実施に向けた素材調査
- ・これまでの調査事業等で把握した地域資源の情報を一元化

事業③ 小さな自然再生発掘事業

- ・自然再生事例の作成

事業⑥ 全体事業

- ・ZOOM会議の実施
- ・会議運営

得られた成果

①水質改善・調査事業

- ・水質改善と生息環境保全を図るための水門管理を検討・調査し、基礎的な調査を実施
- ・湖内及び流域の濁水調査を実施し、過去の結果と比較して分析
- ・濁水流入防止を図るため、地域の稲作の実態に応じた対策について勉強会を実施

②希少種保全・再生事業

- ・標識調査で18種を捕獲。61匹のウシガエル成体、190匹のウシガエル幼生、85匹のアメリカザリガニを駆除

③小さな自然再生発掘事業

- ・自然再生事例集に2事例を追録

④赤尾湿地保全・活用事業

- ・湿地の外来種等を刈取りコウホネ等を保全、周辺小学校の環境学習の場として活用。

⑤エコ・グリーンツアー検討事業

- ・湖（湖岸）ルートを作成、地域資源の情報についてテーマごとに勉強会を実施

⑥全体事業

- ・新型コロナウイルスに対応するため、会議ではZOOMを活用